

おたるゼロカーボン

推進事業者認定制度



“おたるゼロカーボン推進事業者認定制度”は、ゼロカーボンに資する環境に配慮した取組を積極的に実施している事業者を認定する制度です。

「ゼロカーボンシティ小樽市」の実現に向けて、一緒に取り組みませんか？

認定のメリット

- ✓ 脱炭素の取組を対外的にPRが可能
- ✓ 市のホームページで認定事業者の取組を広くPR
- ✓ 市が主催するイベントで認定事業者の取組をPR

▶ その他メリットは今後拡大を予定しています

対象者

小樽市内に事業所を有する次に該当する事業者

- 小樽市税に滞納がないこと。
- 暴力団関係事業者等でないこと。

認定要件

詳細は中面へ

おたるゼロカーボン推進事業者認定制度は、三つ星・二つ星・一つ星の3つの区分に分かれます

一つ星認定★☆☆

必須項目

- ゼロカーボンシティ小樽市の趣旨を理解し、その趣旨に賛同する

選択項目<下記取組項目から一つ以上実施>

- 省エネビジネススタイルの推進
- 廃棄物の減量・資源の有効活用
- 地域公共交通等の利用促進
- 自然とまちなみ景観の保全
- 森林の保全・整備と緑化の推進

二つ星認定★★☆

必須項目

- 一つ星認定の要件を満たすこと
- 温室効果ガス排出量の把握※1
- 温室効果ガス排出量削減目標の設定

選択項目<下記取組項目から一つ以上実施>※2

- 省エネ・再エネ等による脱炭素経営
- 省エネ型機器・設備の導入
- 次世代自動車の導入

※1 官公庁や団体が提供する算定ツールや企業の算定ツール、省エネ法に基づく報告等、把握方法について報告が必要です。

※2 HES、ISO14001、エコアクション21などの第三者認証を取得している場合は、二つ星の選択項目の要件は免除されます。

三つ星認定★★★

必須項目

- 二つ星認定の要件を満たすこと

選択項目<下記取組項目から一つ以上実施>

- 再生可能エネルギーの導入
- 建物の省エネ化

取組例

- 省エネビジネススタイルの推進**
クールビズ、ウォームビズの実施
ペーパーレス化、デジタル化、オンライン化など、デジタルトランスフォーメーション（DX）の実施
テレワークの実施
- 廃棄物の減量・資源の有効活用**
ごみと資源を適切に分別し排出
在庫管理や販売方法を工夫し、廃棄物の減量
資源物の店頭回収促進
環境ラベル製品等環境負荷の低い物品等の調達
フードバンクなど食品ロスの削減
- 地域公共交通等の利用促進**
公共交通機関を利用
自転車や徒歩による移動を心がける
- 自然とまちなみ景観の保全**
景観に関するイベントの参加、自然に関する保全活動に参加
- 森林の保全・整備と緑化の推進**
植樹など森林保全のボランティア活動に参加
敷地内への樹木の植栽や花壇づくりなど、身近な緑化活動
CO₂を吸収し炭素を蓄えている木製品の積極的な活用

取組例

- 省エネ・再エネ等による脱炭素経営**
原材料や部品の調達から、輸送、販売までのサプライチェーン全体でのCO₂排出量の削減
先進的な省エネ技術や再エネの活用技術、製品開発
- 省エネ型機器・設備の導入**
LED照明の導入
省エネ型・高効率型設備の導入
エネルギー効率の高いヒートポンプシステムやコージェネレーションシステムの導入
電化・より低炭素な燃料への転換を伴う機器の導入
エネルギーマネジメントシステム（EMS）によるエネルギー使用状況の把握
省エネ診断の実施
- 次世代自動車の導入**
次世代自動車（ハイブリッドカー、電気自動車など）の導入

取組例

- 再エネの導入推進**
太陽光発電設備等、再生可能エネルギー設備の導入（自家消費）
再生可能エネルギー由来電力の購入（30%以上）
非化石証書の調達、Jクレジットの購入等によるカーボンオフセット
- 建物の省エネ化**
建物のZEB（ZEB Oriented、ZEB Ready、Nearly ZEB）化

申請方法

下記ホームページから様式をダウンロードして記入又は下記フォームからオンラインにより申請



小樽市
ホームページ



オンライン申請
フォーム

認定

認定後は認定証を発行するとともに、三つ星事業者の方には**認定盾**を贈呈します。

認定の流れ

申請



2～4週間

認定



実施報告

認定証の発行、市ホームページに取組を掲載

※三つ星認定事業者の方への認定盾の贈呈はお時間をいただきます。

認定後は、毎年、翌年度の7月末日までに前年度分の実施内容を報告していただきます。

お問合せ

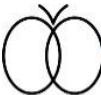
小樽市生活環境部環境課
☎0134-32-4111（内線327・328）
✉kankyo@city.otaru.lg.jp



ZERO CARBON CITY
OTARU



この事業はサマージャンボ宝くじの収益金を活用して実施しています。

 **デコ活**
くらしの中のエコろがけ